



9 月号

令和7年(2025)9月1日発行第489号

「はらっこクラブ」
～ハラガールズで
フラダンス体験～

News from Hara Community Center
原市民センターだより

原風録Ⅱ

「原小学校の未来は？」 所長 平山和弘

7月7日付けで、新聞に廿日市市の統廃合検討対象校として、現在複式学級のある3校が挙げられており、その中の1つとして原小学校がありました。その記事を読んだとき、原小学校も近い将来廃校になるのかと寂しく思いました。しかし、学校運営協議会での廿日市市教育委員会からの説明を聞いて、その認識は誤りであることが分かり安堵しました。

実は、以前「平成」の時にも、原小学校の児童数が少なくなってきて、このままでは、原小学校が近隣の学校に統合されて廃校になるかもしれないという危機感を抱き、保護者や地域の方が一緒になって対応策を考え、取り組まれたことがあるそうです。

その対応策は、空き家対策でした。原地区には、その当時、空き家が結構あったので、その空き家状況を調べ、空き家の持ち主に、そのまま放置しておかれるのか、売ってもらえるのか、それとも貸してもらえるのか、一軒一軒空き家を確認して回られたそうです。持ち主がすぐに分かればよいのですが、近くにお住まいでなく、なかなか持ち主が分からず大変だった空き家もあったと聞いています。

しかし、その努力の甲斐あってか、その空き家情報を基に空き家見学をされる方が多数あり、移住される方もあって、その結果、児童数が徐々に増え、その危機を乗り越えられたそうです。

しかしながら、再び児童数が減少傾向にあり、原小学校を存続させるためにも、再度対応策を考えなければならない時がやってきました。保護者や地域の方が知恵を絞り、互いに協力し合って、良い対応策に取り組んでいく必要があります。

また、市民センターでは、長年未就学児対象の「はらきっず」という講座を実施しています。これは、原の田畑で身体を動かし、生き物と触れ合う体験ができる機会を提供し、感性豊かでのびのびとした子育てを実現すると共に、保護者同士の交流促進を図り、子どもを持つ親に対して子育て環境の良い地域であることを知ってもらい、原地区への移住促進の一つのきっかけになってくれればという願いも持って取り組んでいます。

今後、原小学校や未就学児の保護者の方や地域の方を対象に説明会が開催されます。是非、参加して共に原小学校存続のために何ができるかを考えていきましょう。

事業報告



今年の夏休みも、昨年に引き続き、料理教室や市民センターのクラブの体験教室を実施しました。陶芸教室だけ、定員のほぼ2倍だったので抽選させていただきました。他の体験教室は、ほぼ定員だったので抽選無しで実施しました。クラブの方や講師の先生が優しく教えてくださり、どの子ども楽しそうに取り組んでいました。子どもたちの中には、昨年に続いて2回目のチャレンジで「上手になってるね。」とほめられた子もいました。



ウクレレクラブ
ハラホクラ二



原オカリナ合奏団



夏野菜ピザ&
フルーツゼリー



料理教室



宮島彫り倶楽部



陶芸クラブ 陶遊会

◇折り鶴のご協力、大変ありがとうございました◇

戦後80年非核平和事業の一環として、来館した際に、多くの方に折り紙で鶴を折っていただきました。本当にご協力ありがとうございました。おかげさまで折り鶴は、千羽に到達しました。その折り鶴に込めた平和への願いが届き、戦争のない平和な世界になるように心から望みます。

その折り鶴の一部を市民センターの1階ロビーを中心に壁面に1羽ずつ飾っております。その後、広島平和公園に献納いたします。



今月の本 「犬と私の10の約束」

川口 晴/著 文藝春秋

12歳になったばかりのあかりが学校から帰ってみると、庭の植え込みからヨチヨチ歩きの子犬が出てきました。犬を飼いたがっていたあかりは捕まえようとしますが、電話の音にビックリした子犬はどこかへ姿を隠してしまいます。しかもその電話は、母が倒れ、入院したという父からの知らせでした……。母が入院して数週間、函館の総合病院に勤める医師である父はいつも忙しく、日曜日も仕事。そんな朝、例の子犬がまた庭に現れました。右の前足だけが白く、靴下をはいているように見えるゴールデンレトリバーは、こうして家族の一員に。さっそく病院に見せに行くと、「犬を飼う時は10の約束をしないといけないの」と、母は言います。「私にはあなたしかいません。仲良くして。遊んで。信じて。心があることを忘れないで。私が死ぬときはそばにいて。私がずっとあなたを愛していたことを覚えていて……」あかりは子犬と10の約束を交わしました。その子犬は白い足にちなんでソックスと名づけられ、かけがえのない存在になってゆきます。母が急死した時にも、片時も離れずあかりの悲しみを癒してくれたのはソックスでした。しかし、恋をし、将来の目標に夢中になるにつれ、あかりはソックスの存在を邪魔に思い、イラ立ちを感じるように……。ソックスとの10の約束を、あかりは最後まで守れるのでしょうか？

インターネットを通じて広まった作者不詳の短篇詩「犬の十戒」、この詩をヒントに生まれた物語です。大切な家族となったソックスとあかりの感動の物語がかわいい写真とともにつづられています。ぜひ味わってみられてはいかがでしょうか。(図書の貸し出しは2週間です。)



～9月の行事予定～



2日(火)	いきいき百歳体操(山下先生)	10:00～
3日(水)	はらきっず・ぴち	9:30～
	はらきっず・ぷらす(合同)	14:50～
9日(火)	いきいき百歳体操	10:00～
	健康麻雀	13:30～
10日(水)	はらきっず・ぴち	9:30～
	はらきっず・ぷらす(合同)	14:50～
	はらほっとサロン	13:30～
14日(日)	敬老会(原小学校)	9:30～
16日(火)	いきいき百歳体操	10:00～
17日(水)	はらきっず・ぴち	9:30～
	はらきっず・ぷらす	14:45～
	原まちづくり部会	19:30～
19日(金)	一光大学(知っておきたいお金の話)	13:30～
24日(水)	はらきっず・ぴち	9:30～
	はらきっず・ぷらす	14:45～
26日(金)	移動図書館たんぽぽ号	11:40～
30日(火)	いきいき百歳体操	10:00～

◆休館日：9/15(月) 敬老の日・9/23(火) 秋分の日

◇スマホ・パソコン相談室◇

開催日：毎週月曜日10時～16時(12時～13時を除く)

※要予約 ☎39-0227

原地区の人口と世帯数(令和7年8月1日現在)

人口：1,370人(+1) 男652人(±0)
女718人(+1)

世帯数：725世帯(±0) ※0は前月比

編集：原市民センター 〒738-0031 廿日市市原439-2
TEL：39-0227 FAX：39-0314

※センターだよりは、ホームページでもご覧になれます。

<https://www.city.hatsukaichi.jp/site/harasc>

検索

令和7年国勢調査を実施します



国勢調査 2025



- 国勢調査は、令和7年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。
- 9月下旬頃から、調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類をお配りします。
- 回答は、スマホやパソコンからかんたん便利なインターネットでお願いします(郵送も可能です。)
- スマホからの回答は、QRコードを読み取ることで簡単にログインできます。IDやパスワード(アクセスキー)の入力は不要です。
- 国勢調査の結果は、国や地方公共団体だけではなく子育て支援への利用、防災対策への利用、企業等での利用など、わたしたちの身近な暮らしに使われています。

インターネット回答期間

調査票(紙)での回答期間

9/20(土) → 10/8(水) 10/1(水) → 10/8(水)

【かたり調査にご注意ください!】

- 国勢調査をよそおった詐欺(さぎ)や不審な調査にご注意ください。
- 国勢調査では、金銭を要求することはありません。また、銀行口座の暗証番号やクレジットカード番号をお聞きすることはありません。
- 国勢調査をよそおった不審な訪問者や、不審な電話・電子メール・ウェブサイトなどにご注意ください。不審に思った際には、速やかに市役所統計係にお知らせください。

国勢調査については、「国勢調査2025キャンペーンサイト」をご覧ください。

<https://www.kokusei2025.go.jp/>



お知らせ◆第21回原市民センターまつり◆

とき 10月19日(日) 10時～12時30分 内容 ステージ・作品展など
※ 今年度も、遊休品バザー、パン販売をします。詳細は たより 10月号にてお知らせいたします。